

技術審査証明5

技術名称 INSEM-SBウォール工法

審査証明取得日：平成17年2月22日

審査証明取得会社：(株)インボックス、共和コンクリート工業(株)、日鐵住金建材工業(株)

技術の詳細に関するURL <http://www.sbwall.org/>

技術の特徴・概要

INSEM-SBウォール工法は、INSEM工法により構築した堤体内部を上下流の外部保護材(上流壁面材は軽量鋼矢板、下流壁面材はコンクリートブロック)で保護することにより、土石流対策えん堤、砂防えん堤等に要求される耐摩耗性、耐衝撃性、耐久性および景観性を向上させ、現地発生土砂の有効活用による建設環境の向上および設計施工の合理化を図ろうとするものです。

また、INSEM-SBウォール工法の内部材は、現地土砂の性情により、その品質が大きく異なるため、当工法では内部材の配合試験マニュアル、設計施工マニュアル、標準積算マニュアル(案)など、設計施工時に必要な各種マニュアルを作成し、設計から施工まで一貫した作業が行える体制を整えています。

現地での施行状態や技術が活用されている図・写真・コメント等



実際に技術を適用して困った点、今後の改良課題について

現地土砂のINSEM工法への適用に関して、設計時点で必要な情報を簡易に取得することが求められています。当工法では、過去に行った900ケースを越える配合試験データから、現地土砂のINSEM工法への適合に関する研究を積極的に行

っています。また、六価クロム溶出に関する対応や、INSEM材の製造等、さまざまなデータを蓄積し、外部保護材から内部材まで総合的な情報提供ができる体制を目的に、継続した研究を続けています。

技術のアピールポイント、得意とする現場条件や施工法と比較して有利な点など

INSEM-SBウォール工法は、外部保護材と内部材が連続して施工可能であるため、コンクリートえ

ん堤にくらべて工期短縮が可能であり、規模が大きくなるほど、その効果は顕著になります。

*先号の技術審査証明3で紹介しました“SSL-CE永久アンカー工法”のタイトルは“SSL永久アンカー工法(拡孔支圧型永久アンカー工法)”の誤りでした。ここにおわびして訂正いたします。